

2026 年 1 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 F I X E R
代表者名 代表取締役社長 松岡 清一
(コード：5129、東証グロース市場)
問合せ先 取締役 磐前 豪
(TEL. 03-3455-7755)

話せるメディカル株式会社の完全子会社化に向けた基本合意に関するお知らせ

当社は、2025 年 10 月 10 日付「話せるメディカル株式会社の資本提携強化に向けた協議開始に関するお知らせ」において公表したとおり、同社の株式取得・資本関係強化に向けた協議を進めてまいりました。

このたび、当社は話せるメディカル株式会社（以下、「話せるメディカル社」といいます。）の 90.9%の株式を新たに取得し、合計 100.0%の株式を保有した上で完全子会社化することを目的とした基本合意に至りましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 基本合意に至った背景及び目的

当社は「Technology to FIX your challenges.」のビジョンのもと、医療領域における DX 推進および社会インフラとしての AI 活用を加速させております。

話せるメディカル社は、オンライン薬剤師相談・服薬指導等の医療サービスを通じて医療現場の課題解決に取り組んでおり、当社が医療 DX 支援で有する豊富な実績との親和性を有しています。

医療×AI 事業においては、サービスの品質管理体制、関連法令・ガイドラインに基づく統制対応、医療機関・自治体からの長期信頼性確保が不可欠であり、これらを「**スタートアップ水準**」から「**社会インフラ水準**」へ引き上げることを共通認識として協議を重ねた結果、完全子会社化を前提とした基本合意に至りました。

2. 基本合意の概要

当社および話せるメディカル社は、以下の重要観点を踏まえたうえで、完全子会社化に向けた基本合意を締結しました。

(1) 品質管理体制の強化

当社のガバナンス・品質保証プロセスを活用し、医療サービスの安全性および品質レベル向上を推進します。

(2) 法令・ガイドライン・統制対応の徹底

医療関連法規制および AI ガイドラインへの対応をグループとして統合的に実現します。

(3) 医療機関・自治体から見た信頼性の向上

社会インフラとしての信頼性を担保する体制整備を進め、長期的な導入・運用ニーズに対応します。

3. 話せるメディカル株式会社の概要

(1)	名称	話せるメディカル株式会社	
(2)	所在地	東京都渋谷区渋谷 2 丁目 1-11 郁文堂青山通りビル 6F	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 木下 将吾	
(4)	事業内容	医療従事者による相談サービス事業の企画・開発・運営・販売	
(5)	資本金	31,500 千円	
(6)	設立年月日	2023 年 7 月 19 日	
(7)	大株主及び持株比率	木下 将吾 36.9% 畝川 隆宏 23.6% 野田 拓人 23.6% 株式会社 F I X E R 9.1% その他 6.7%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	発行株式の 9.1%の株式を保有しております。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	開発領域における業務支援を行っております。

注記：「当該企業の最近 3 年間の経営成績及び財政状態」については、先方の意向もあり最終契約書締結時に開示いたします。」

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の取得株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	1,080 株 (議決権の数：1,080 個) (議決権所有割合：9.1%)
(2)	取得株式数	10,800 株 (議決権の数：10,800 個)
(3)	異動後の所有株式数	11,880 株 (議決権の数：11,880 個) (議決権所有割合：100.0%)
(4)	取得価額	DD の結果を基に既存株主と協議の上決定する予定であり、決定次第、速やかにお知らせいたします。

5.日程

(1)	本合意書締結日	2026 年 1 月 9 日
(2)	株式譲渡契約書締結日	2026 年 1 月 30 日（予定）
(4)	株式譲渡実行日	2026 年 1 月 30 日（予定）

6. 各社コメント

株式会社 FIXER 代表取締役社長 松岡 清一

このたび、話せるメディカル社を完全子会社化することを前提に基本合意に至ったことを、大変嬉しく思います。2025 年 4 月の資本業務提携締結以降、両社は医療 DX の可能性を追求し、オンライン薬剤師相談・服薬指導という実装領域から、より広範かつ高信頼性が求められる社会インフラ領域へと取り組みを深化させてまいりました。

話せるメディカル社が現場起点で磨き上げてきた医療現場への深い知見と、当社の若いエンジニアを中心とした爆速の開発力、そしてこれまでエンタープライズ領域で培ってきた堅牢なシステム設計力・ガバナンス体制が融合することで、サービスのスピードと信頼性の双方を高次元で両立させ、より大きな価値向上を実現できると確信しています。

この融合は、単なる事業拡大にとどまるものではありません。患者さま、医療従事者、自治体の皆さまが安心して頼れる社会インフラとしての医療 DX を実現すると同時に、FIXER 自身にとっても、話せるメディカル社の現場志向・実装力から強い刺激を受け、技術・組織の両面でさらなる成長を遂げる契機になると考えています。

私たちは、2025 年 4 月の提携発表時に申し上げたとおり、志ある経営陣と共に医療 DX を力強く推進していく意志を持ち続けてきました。今回の基本合意は、その歩みを次のレベルへと進める重要なステップです。

今後は、完全子会社化に向けた最終契約および体制整備を着実に進めるとともに、品質管理・法令遵守・信頼性といった社会インフラに不可欠な要件を備えたサービス提供体制の構築に邁進してまいります。引き続き、皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

話せるメディカル株式会社 代表取締役 木下 将吾

弊社は「人々と医療従事者の距離をなくす」というミッションを掲げ、医療 DX の推進に邁進してまいりました。事業の進展に伴い、多くの患者様をサポートできる基盤が整いつつありますが、私たちのサービスを真に「社会インフラ」へと昇華させるためには、さらなる展開の加速が不可欠です。

弊社は、先達が築き上げてこられた医療という尊い業界において、その伝統を尊重しながら事業を継続し、発展させていくことこそが、ミッション達成の鍵であると考えております。

昨年 4 月の資本業務提携以降、FIXER 社からは多大なる業務サポートをいただいております。このたび、両社の関係をより強固なものとし、特に品質管理体制の強化という多角的観点から、患者様や医療従事者の皆様がより安心して利用できるサービスへと成長させるべく、新たな合意に至りました。

今後は FIXER 社とより緊密に連携し、安全性・信頼性・品質を徹底した体制構築と、継続的な技術革新を両立させてまいります。これにより、ステークホルダーの皆様へさらなる価値を提供できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

6. 今後の見通し

本件が当社の業績に与える影響につきましては、今後の協議の結果、開示すべき事項が確定した段階で速やかにお知らせいたします。

以上